

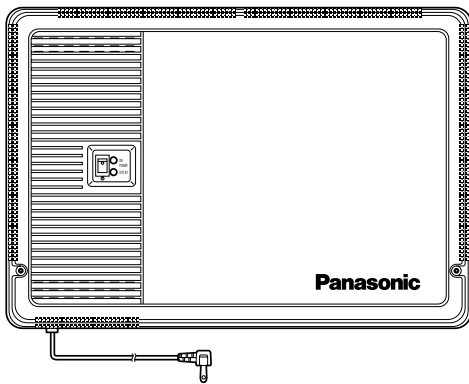
集合住宅用セキュリティシステム 取扱説明書

工事説明書別添付

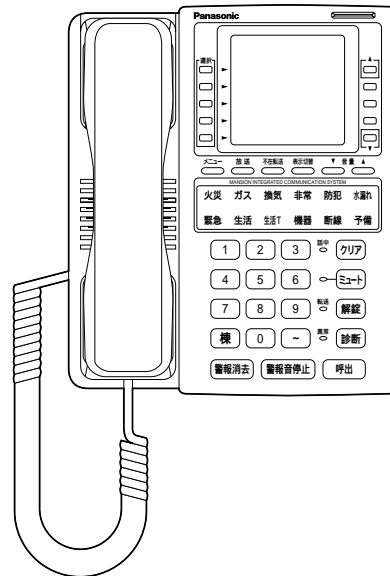
集中制御装置 品番 VL-M786A **中央制御装置** 品番 VL-M785A **64戸用制御装置** 品番 VL-M784A

管理事務室親機 品番 VG-E485 **LSA室親機** 品番 VG-E486 **共同玄関子機** 品番 VL-575AN, 575AY, 545CN, 545CY
VL-576AN, 576AY, 546CN, 546CY

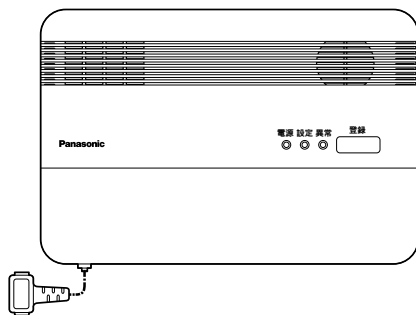
C : テレビカメラ付
N : 「管理室呼出」表示無
Y : 「管理室呼出」表示有



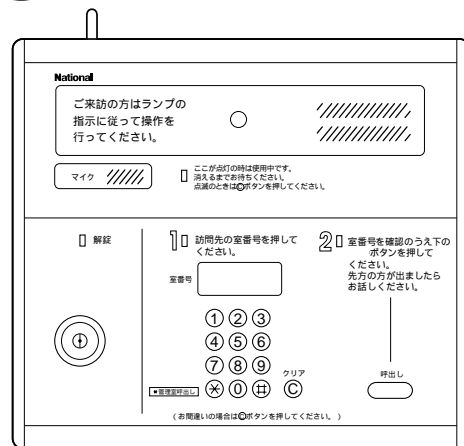
集中制御装置
VL-M786A
中央制御装置
VL-M785A



管理事務室親機
VG-E485
LSA室親機
VG-E486



64戸用制御装置
VL-M784A



共同玄関子機
VL-576AY

保証書別添付

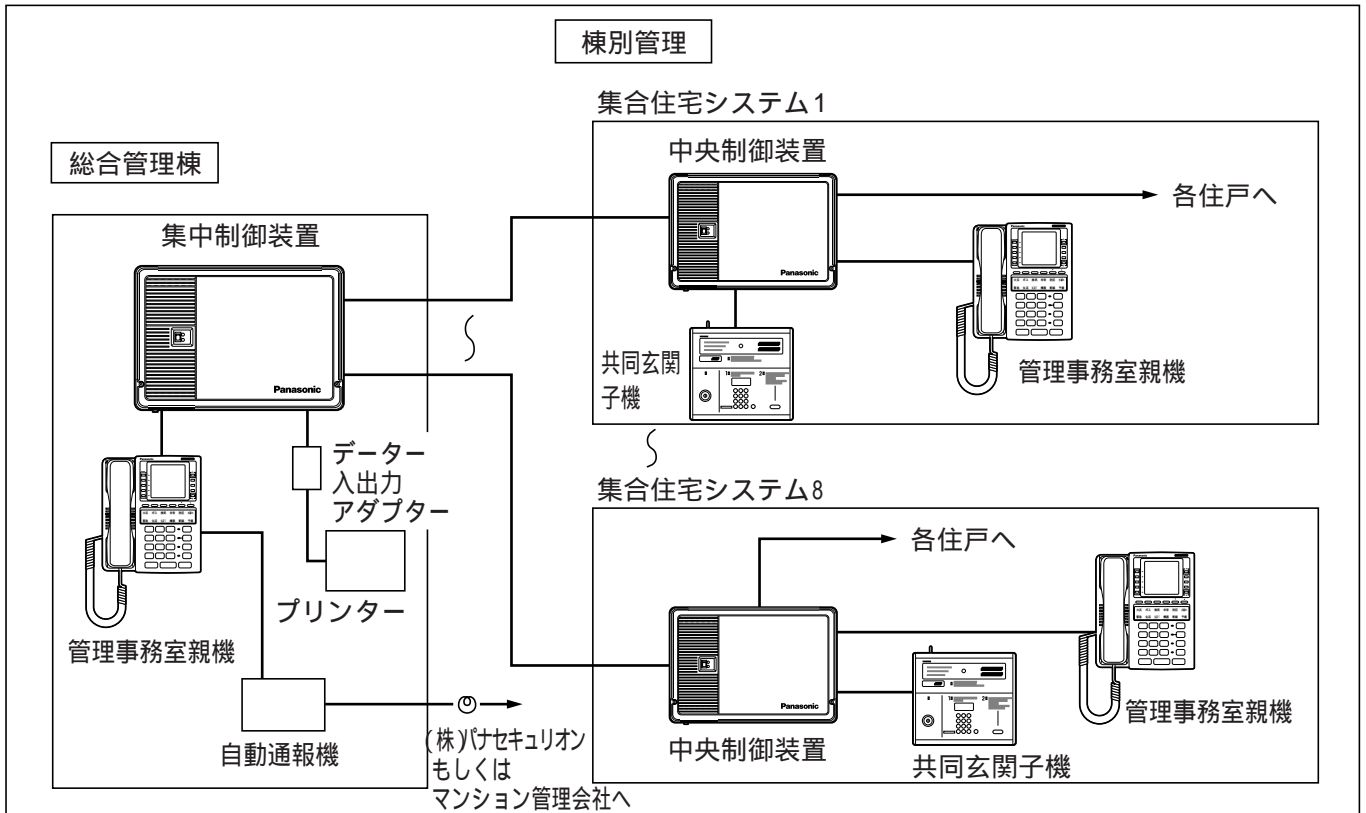
このたびは、集合住宅用セキュリティシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

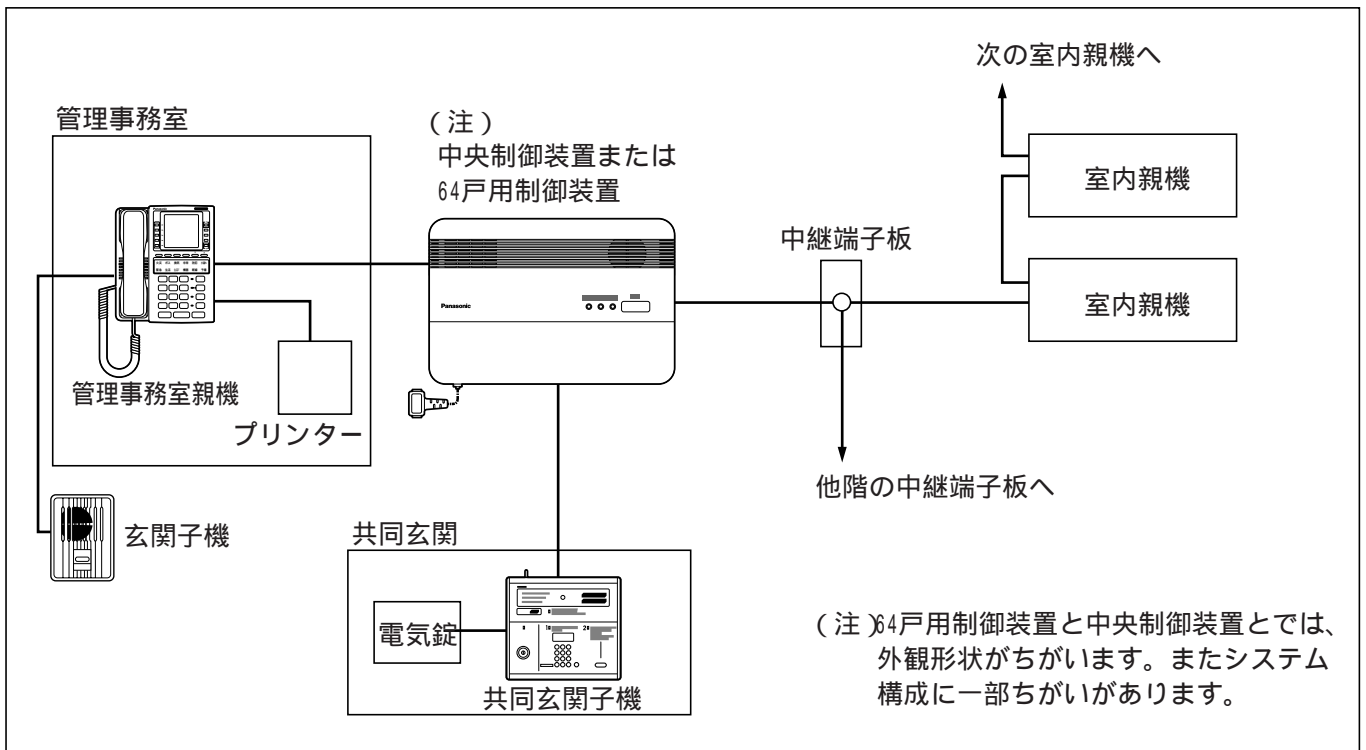
特長

本システムは、集合住宅のさまざまな建築構法に対応できるように制御装置を3機種揃え、システム化・ネットワーク化を追求し、複数の共同玄関子機や管理事務室親機を設置できる集合住宅システムです。

集中管理システム



集合住宅システム



もくじ

はじめに

特長	2
安全上のご注意	4
居住者の皆さまへのお願い	5
ご使用にあたってのお願いとお知らせ	6

はじめに

各部の名前と働き

集中制御装置・中央制御装置	8
64戸用制御装置	9
管理事務室親機・LSA室親機	10

各部の
名前と
働き

親機の使いかた

呼び出されたときは	13
呼び出しの方法	15
住戸への一斉放送、緊急放送	19
他の管理事務室親機の呼び出し	20
着信履歴からの住戸呼び出し	21
不在転送の設定	22
システムを調べる診断機能	24
室内親機のセキュリティ警報音を停止するには	25
住戸内で異常が発生すると	27
警報内容をプリント（印刷）するには	29
管理事務室親機でのプログラム設定方法	30

親機
の
使い
かた

その他

共同玄関子機	40
保証とアフターサービス	42
仕様	裏表紙

その他

お知らせ

この取扱説明書の文中に「プログラム設定」の付いている項目は、取り付け時に制御装置(VL-M786A、VL-M785A、VL-M784A)での設定が必要です。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

分解・改造しない



感電の原因となります。

分解禁止

内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。

水などをかけない



発熱や発火の原因となります。

禁止

異物を入れない



隙間などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。

禁止

万一、異物が入ったら、電源コードを電源コンセントから抜いて、販売店へご相談ください。

通風孔はふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

指定以外の別売機器や互換性のない機器は接続しない



火災や感電の原因となります。

禁止

取付・移動・修理・点検については、販売会社または販売店に相談する



電気工事士の資格が必要です。

禁止

居住者の皆さまへのお願い

皆さまの住戸内には、消防用設備である自動火災報知設備（共同住宅用受信機（セキュリティインターホン）と感知器など）が設置されています。

自動火災報知設備は、自動的に火災を感知してすみやかに避難などをするための設備です。万一の火災に備え常に正常に作動するよう、日常と定期的な点検が必要です。

日常点検

居住者の皆さまによる日常点検のポイントは次のとおりです。

住戸内の外観の点検は、居住者の皆さまにお願いいたします。
外観の点検ポイントは次のとおりです。日常的に点検を行うよう、お願いいたします。

セキュリティインターホンの電源が切れていないか。（電源表示灯の緑色点灯を確認する。）

セキュリティインターホン、感知器が変形、損傷、脱落していないか。

上記のようなことがあった場合、または警報音が鳴るなど原因不明の異常なことがあった場合は、すみやかに管理事務所・管理者に連絡してください。

定期点検

施工店または定期点検実施店による定期点検が年2回実施されます。

セキュリティインターホンを共同住宅用自動火災報知設備として使用された場合、設置後の定期的な点検が法律により義務付けられています。

外部試験器による定期点検時には、インターホン本体では警報音は鳴らずに表示灯も点滅しません。玄関子機から警報音が鳴り、表示灯が点滅し、感知器の確認灯が一瞬点灯します。

メモ

点検方法は地区の消防署により異なる場合があります。
詳細は施工店または最寄りの当社営業所へ相談してください。

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

電池交換について

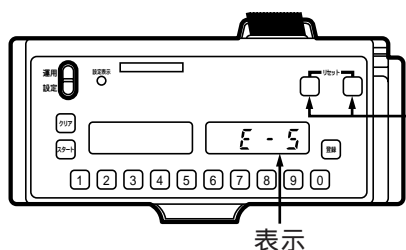
制御装置の電池交換について

長時間の停電が発生したり、取り付け後約7年が経過して、内蔵電池の寿命が近づくと、電池交換を促す警告音“ピー音”が鳴り続けるとともに装置内のプログラムユニットに“E-5”と表示されます。

対処の仕方

VL-M785A、VL-M786Aの場合

- ① 制御装置内の上ケースの止めネジをはずし、上ケースを取る。
- ② 制御装置内のプログラムユニットのリセットスイッチを2つ同時に押します。
➔ 警告音が止まり、プログラムユニットの表示も消えます。



お知らせ 警告音が鳴っている間も、システムの動作は正常です。

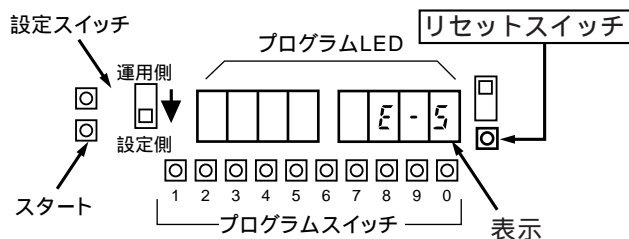
- ③ 施工店などに電池交換を依頼してください。

制御装置の電源スイッチは「ON」の状態ですべての電池交換をしてください。（「OFF」の状態ですべての電池をはずすと、設定内容が消えてしまいます。）

電池交換方法は「取付工事説明書」を参照してください。

VL-M784Aの場合

- ① 制御装置の上ケースの止めネジをはずし、上ケースを取る。
- ② 制御装置内のプログラム設定部のリセットスイッチを押します。
➔ 警告音が止まり、プログラム設定部の表示も消えます。



お知らせ 警告音が鳴っている間も、システムの動作は正常です。

- ③ 施工店などに電池交換を依頼してください。

制御装置の電源スイッチは「ON」の状態ですべての電池交換をしてください。（「OFF」の状態ですべての電池をはずすと、設定内容が消えてしまいます。）

電池交換方法は「取付工事説明書」を参照してください。

管理事務室親機 / LSA室親機の電池交換について

長時間の停電が発生したり、取り付け後約7年が経過すると内蔵電池が消耗し、寿命が近づきます。

対処の方法

施工店などに電池交換を依頼してください。

電池交換方法は「取付工事説明書」を参照してください。

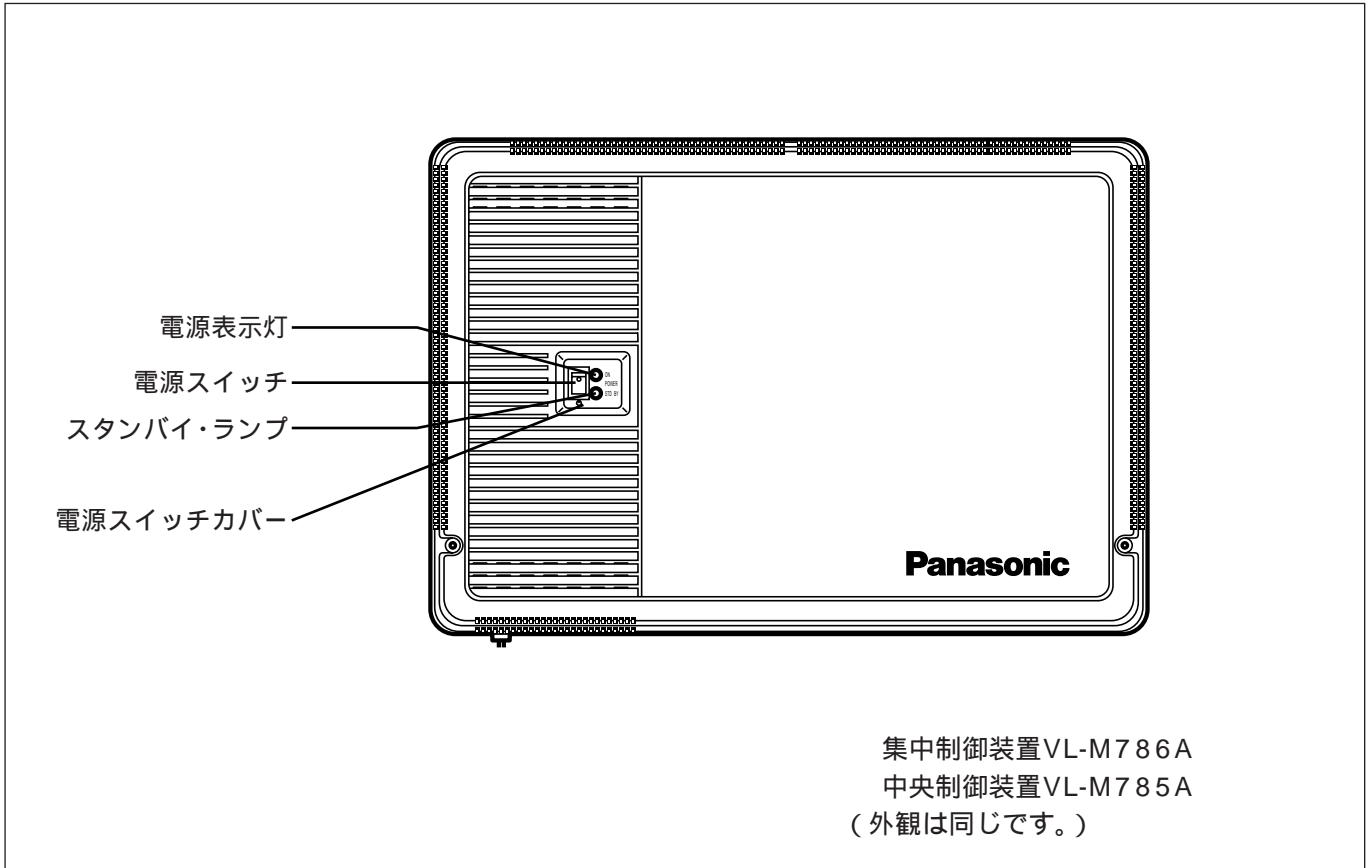
機器の使用について

<p>電磁波発生源や磁気を帯びたものに近づけない（高周波ミシン・電気溶接機・磁石など）</p> <p>雑音発生の原因となります。 （また、映像のある機器では、画像のみだれなどの原因となります。）</p>	<p>電源スイッチを切らない</p> <p>故障の原因となります。</p>
<p>機器に強い衝撃や振動を与えない 故障や破損の原因となります。</p>	<p>放熱のため周囲に物を置かない 機器内部に熱がこもり、故障の原因となります。 周囲30cm以内に物を置かないでください。</p>
<p>硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、酸、有害ガス等の発生する場所に置かない 故障や機器の寿命が短くなる原因となります。</p>	<p>ラジオ、テレビ、コンピュータ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどを2m以上離す 機器からのノイズにより、雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因となります。</p>

お手入れについて

<p>清掃するときはスイッチ類に触らないでください 誤動作の原因となります。</p>
<p>電源を切り、乾いたやわらかい布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）をやわらかい布にを染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。 ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。</p>

集中制御装置・中央制御装置



特長

- ① 管理事務室親機、共同玄関子機など共用部の機器の電源を供給します。(DC24V)
- ② システムの仕様はプログラムユニットにより設定できます。(住戸番号、通話路数、管理事務室親機・共同玄関と住戸との対応など)
- ③ 停電のときも、システム設定の内容は記憶されています。
- ④ 最大512の室内親機を接続することができます。(LCカードを増設した場合)

無停電電源装置(AC100V)オプション
無停電電源装置を接続しますと、管理事務室親機、共同玄関子機は、停電時でも、一定時間正常に作動させることができます。(作動可能時間は、接続する無停電電源装置の種類によって変わります。)

停電時、すべての動作は停止します。
(無停電電源装置未接続時または接続時でも一定時間経過した場合)

復旧すると元どおりに作動します。

システムの設定は初期に行います。設定変更を行う場合は、施行店にご連絡ください。

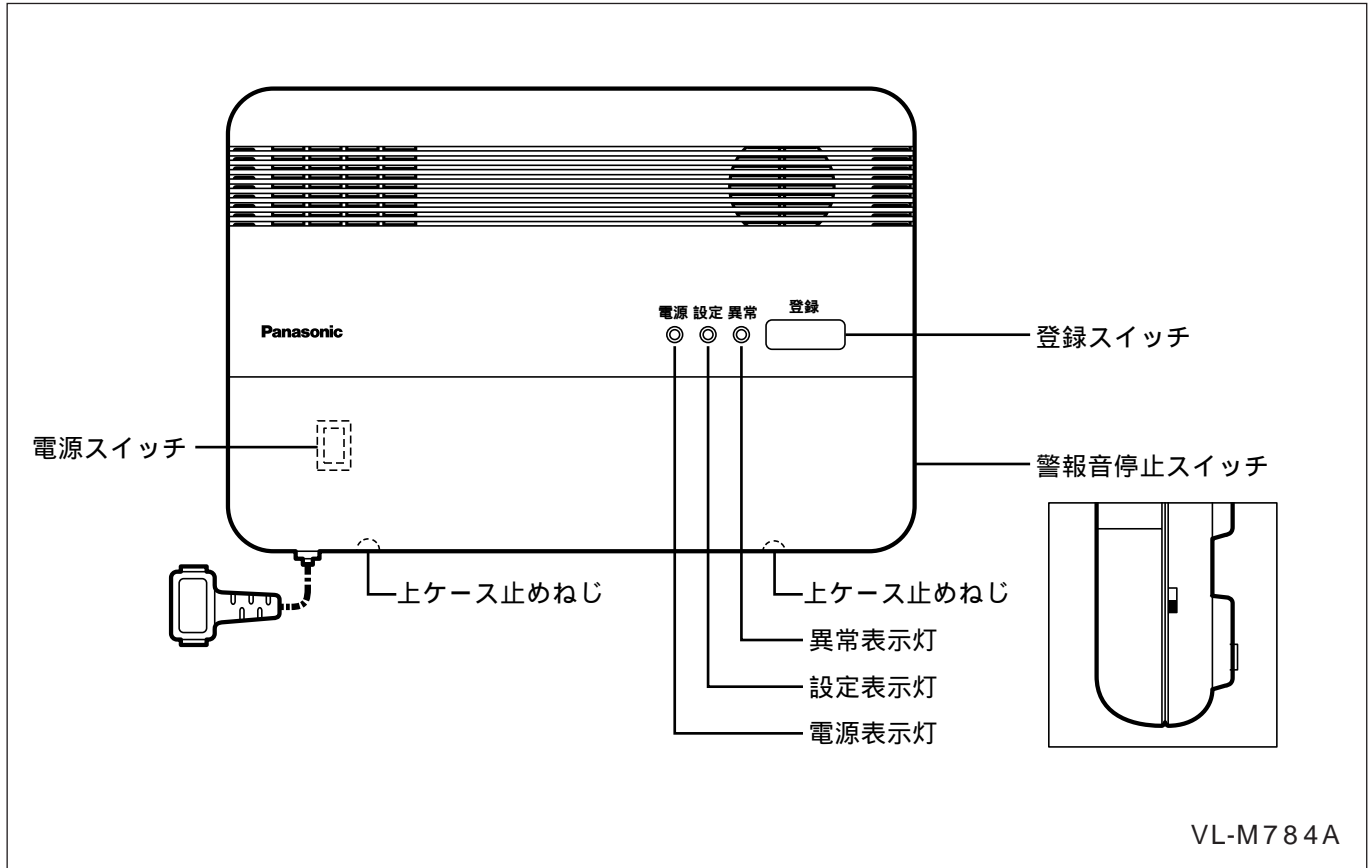
お願い

システム設定後は電源を3ヵ月間以上切らないでください。システム設定内容が消去され、再設定が必要になります。

ご使用のまえに「電源スイッチ」を入れてください。

制御装置の「電源スイッチ」は、システムを作動させるスイッチです。
ご使用のまえに「電源スイッチ」を入れ、電源表示灯(緑)が点灯するのを確認してください。

64戸用制御装置



特長

- ① 管理事務室親機、共同玄関子機など共用部の機器の電源を供給します。(DC24V)
- ② システムの仕様はプログラム設定部より設定できます。(住戸番号、通話路数、管理事務室親機・共同玄関と住戸との対応など)
- ③ 停電のときも、システム設定の内容は記憶されています。
- ④ 最大64の室内親機を接続することができます。

無停電電源装置(AC100V)オプション
無停電電源装置を接続しますと、管理事務室親機、共同玄関子機は、停電時でも、一定時間正常に作動させることができます。(作動可能時間は、接続する無停電電源装置の種類によって変わります。)

停電時、すべての動作は停止します。
復旧すると元どおりに作動します。

システムの設定は初期に行います。設定変更を行う場合は、施行店にご連絡ください。

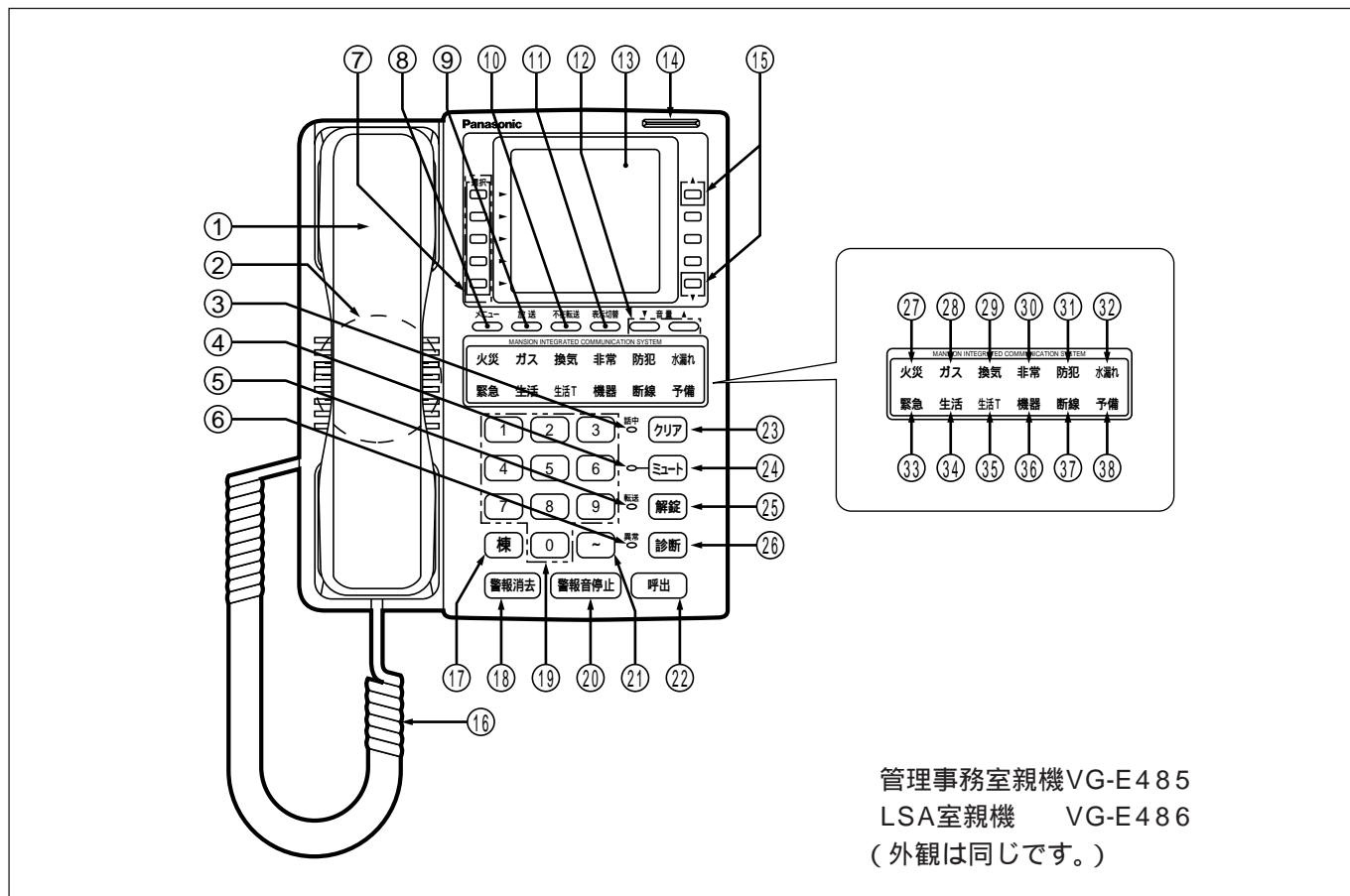
お願い

システム設定後は電源を3ヵ月間以上切らないでください。システム設定内容が消去され、再設定が必要になります。

ご使用のまえに「電源スイッチ」を入れてください。

手順 上ケース止めねじ(2ヶ所)をはずし、上ケースをはずす。
電源スイッチを入れ、電源表示灯(緑)の点灯を確認する。
上ケースを元のように取り付ける。

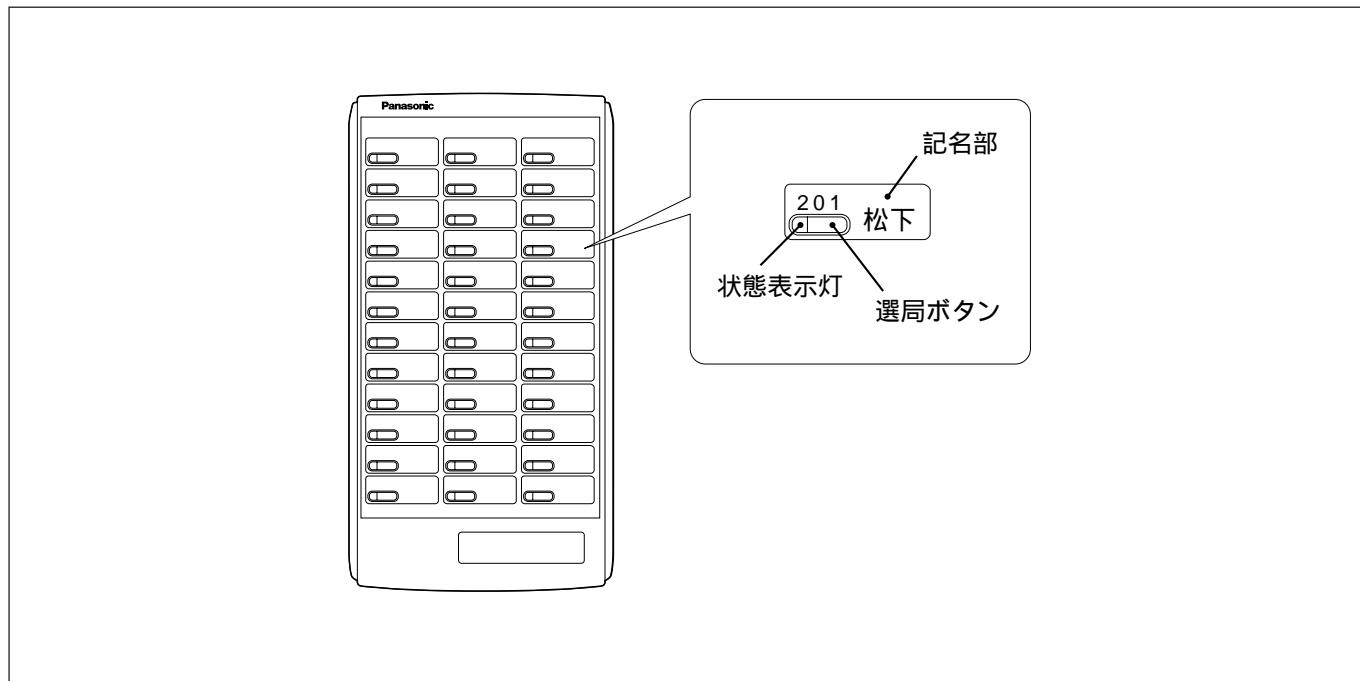
管理事務室親機・LSA室親機



名称	操作・表示
① 受話器	室内親機や共同玄関と通話をします。
② スピーカー	警報音や着信音が鳴動します。
③ 話中表示灯	通話路がふさがっているときに点灯します。
④ ミュート表示灯	ミュート中に点灯します。この表示灯が点灯している間、警報音は鳴りません。着信音は鳴ります。
⑤ 不在転送表示灯	不在転送設定を行ったとき点灯します。
⑥ 異常表示灯	室内親機、共同玄関子機などが故障や停電で動作できない状態になったときに点滅します。
⑦ 選択ボタン	液晶画面内に表示された項目を選択するときに押します。
⑧ メニューボタン	メニュー画面を呼び出すときに押します。
⑨ 放送ボタン	放送メニュー画面（一斉・緊急放送時の選択画面）を呼び出すときに押します。
⑩ 不在転送ボタン	不在転送を設定するときに押します。設定後は、液晶画面に転送先が表示され、不在転送表示灯が点灯します。
⑪ 表示切替ボタン	液晶画面の表示切替時に押します。警報発生時の発生時刻一覧と発生内容一覧の表示切り替えができます。
⑫ 音量ボタン	呼出音量や通話中の受話音量を調節するときに押します。
⑬ 液晶表示部	ダイヤル番号、相手番号、メッセージ登録状態の確認、異常発生箇所、警報内容、警報発生箇所等を表示します。また、待受時は時計を表示しています。

名 称	操作・表示	
⑭ 着信・警報灯	着信中または警報音が鳴っている間、点滅します。	
⑮ 改ページボタン	液晶画面を次のページに進めるときや、前のページに戻すときに押します。	
⑯ カールコード	_____	
⑰ 棟ボタン	棟番号を入力したあとに押します。	
⑱ 警報消去ボタン	警報音停止ボタンに続いて押すと、液晶画面に最初に表示された内容を消去します。警報音停止ボタンと警報音消去ボタンをくり返し押すと、順次表示内容が消去されます。	
⑲ ダイヤル	相手番号を入力するときに押します。	
⑳ 警報音停止ボタン	押すと警報音が停止します。	
㉑ - ボタン	フロアや時間の範囲を設定するときに押します。	
㉒ 呼出ボタン	相手を呼び出すときに、ダイヤルした後押します。押したときに、相手呼び出します。	
㉓ クリアボタン	ダイヤル番号の入力中に押すと入力された番号がクリアされ、相手との通話中に押すと通話が切れます。	
㉔ ミュートボタン	押すと警報音が鳴らなくなりますが、着信音は鳴ります。また、ミュート中はミュート灯が点灯しています。	
㉕ 解錠ボタン	共同玄関の電気錠を解錠するときに押します。通話中に押すことで、解錠できます。モニターテレビ接続時のモニター中や、ワンタッチ解錠設定時は、受話器を取らずに押すだけで解錠できます。	
㉖ 診断ボタン	押すと、動作異常（故障など）になっている住戸や共同玄関などを液晶画面に表示します。また、通話中に押した場合は使用している通話路番号を、住戸番号を押してからこのボタンを押すとメッセージ登録の状態を確認できます。	
警報表示灯	各住戸で異常が発生すると、それぞれの表示灯が点灯します。また、警報に対応した音声合成警報音も鳴ります。	
⑳ 火災表示灯		
㉑ ガスもれ表示灯		
㉒ 換気表示灯		
㉓ 非常表示灯		
㉔ 防犯表示灯		
㉕ 水もれ表示灯		
㉖ 緊急表示灯		
㉗ 生活表示灯		(LSA室親機のみ対応)
㉘ 生活T表示灯		(LSA室親機のみ対応)
㉙ 機器表示灯		(LSA室親機のみ対応)
㉚ 断線表示灯		
㉛ 予備表示灯	(機能なし)	

状態表示ユニット (VG-E202)



LSA室親機オプションユニットで、次の機能を持っています。

住戸の在室 / 不在の情報を全室にわたり、いつでも表示しています。

(状態表示灯が“ 緑 ” 在室、“ 消灯 ” 不在です。)

表示切替ボタンを押すことで、メッセージ登録の有無を表示します。

(状態表示灯が“ 緑 ” メッセージ有、“ 消灯 ” メッセージ無です。)

住戸呼び出しがワンタッチでできます。

警報発生住戸を点滅表示(赤)します。この選局ボタンを押すと、警報発生住戸を呼び出します。

緊急通話ユニット(VG-M380)の警報の場合、緊急通話ユニットを呼び出して通話できます。

状態表示ユニット1台で36住戸の表示ができ、最大で8台(288住戸)まで接続できます

構造上、取り付け後にLSA室親機との間にすき間ができる場合があります。

呼び出されたときは

受話器を取るだけで通話できます。

相手番号が液晶画面に表示され、呼出音でどこからの呼び出しかがわかります。

室内親機・他の管理事務室親機から

トゥルトウル

共同玄関子機から

ピンポンピンポン

管理事務室の玄関子機から

ピンポン

お知らせ

通話は約3分で自動的に切れます。

(切れる約10秒前に警告音が鳴ってお知らせします)

設定により通話時間の変更が可能です。(1~10分)

同時に呼び出されたときの優先順位

玄関子機が最優先です。

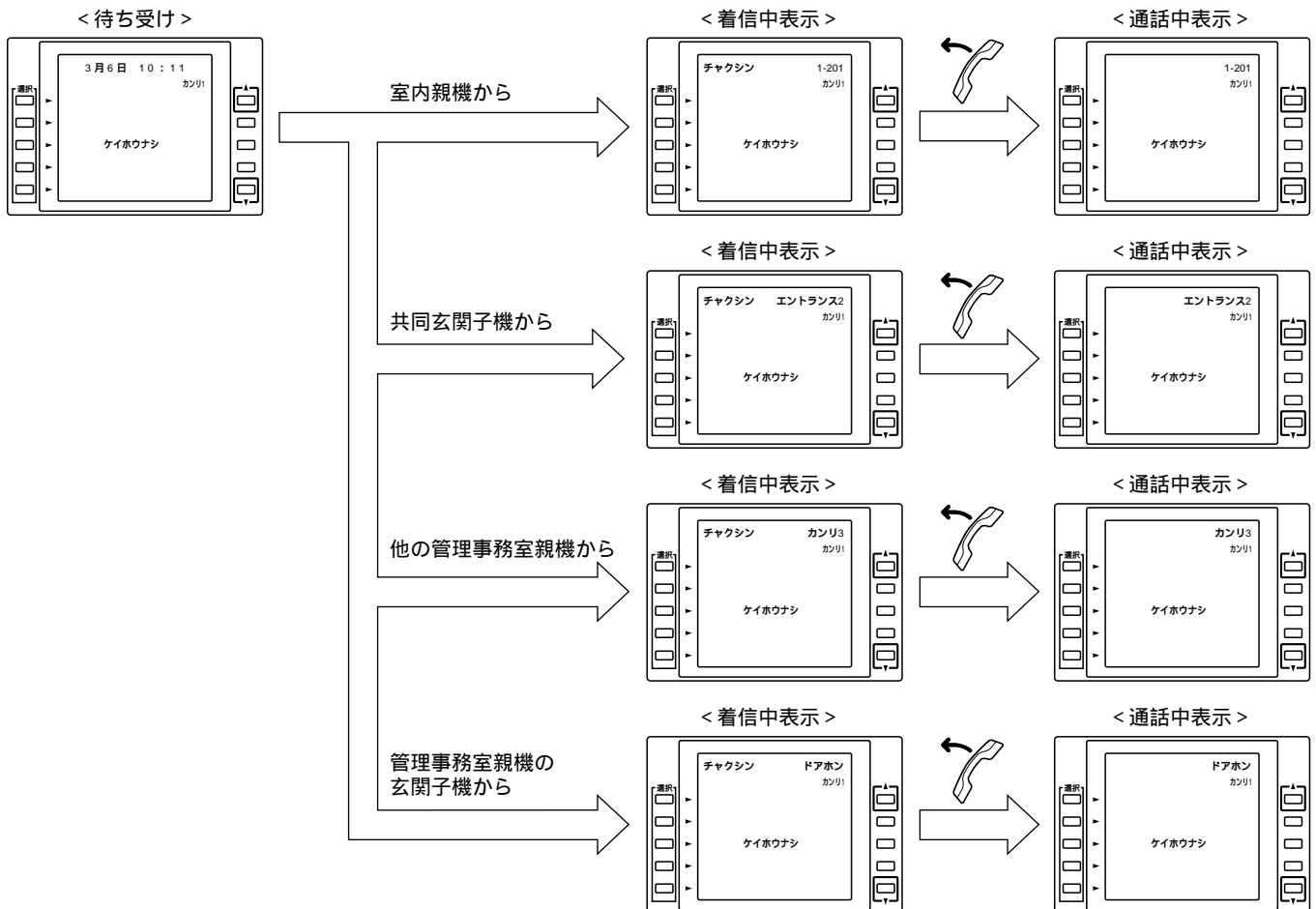
玄関子機の呼び出しは、他の通話中でも呼出音が鳴ります。

他の呼び出しは先着順になります。

通話が終わりましたら、受話器を正しく掛けてください。

正しく掛けないと警告音(プープ)が鳴ります。受話器を正しく掛け直してください。

呼び出されたときの液晶表示の推移



親機の使いかた

LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1、カンリ3”の部分が“LSA1、LSA3”になります。

状態表示ユニットを接続した場合は、状態表示ユニットの該当住戸の状態表示灯が“緑”で点滅します。

共同玄関の解錠

共同玄関と通話中に、**解錠** ボタンを押してください。

モニターテレビを接続してある場合、モニター中に**解錠** ボタンを押すと解錠できます。

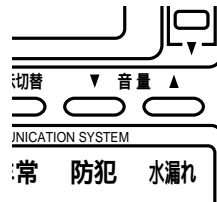
ワンタッチ解錠設定時は、受話器を取らずに**解錠** ボタンを押すだけで解錠できます。(同一棟設定の共同玄関は、すべて解錠されます)

通話中の受話音量を調節できます。

(通話中に音量ボタンを操作)

着信音の音量を調節できます。

(待ち受け中に音量ボタンを操作)



音量ボタンを押してください。

4段階に切り替えられます。

を一度押すと下または上に

1段階切り替わります。 は1段

階、 は2段階あります。

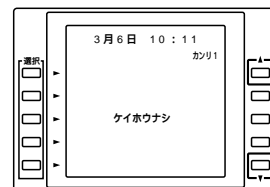
呼び出しの方法

ダイヤルする前に「話中表示灯（赤色）」が消えていることを確認してください。
点灯しているときは、すべての通話路が使用中ですので、使用できません。

住戸の呼び出し

個別呼び出し

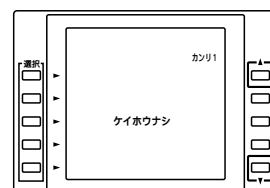
1 受話器を取ります。



2 住棟番号と **棟** ボタンを押します。

住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。

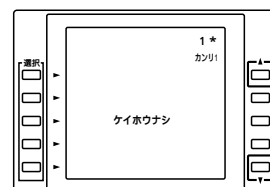
1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。



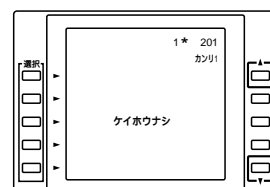
3 住戸番号を押し、 **呼出** ボタンを押します。

住戸番号を押すと、住棟と住戸の番号が表示されますので、確認してから **呼出** ボタンを押してください。

番号を押しまちがえたら **クリア** ボタンを押してやり直してください。

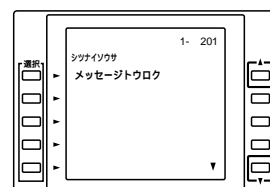
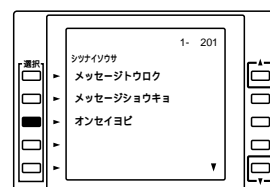
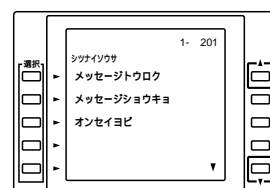


4 呼出音が小さく聞こえます。
応答があったら、お話しください。



音声で呼び出すときは

液晶画面の“オンセイヨビ”の左側にある選択ボタンを押してください。
「さ～ん」と音声で呼び出してください。



受話器を戻さなくても、続けて
ダイヤルできます。

- ① 通話が終わったら「クリア」ボタンを押します。
(終話になり、待ち受け状態になります)
- ② 次に呼び出す相手番号をダイヤルします。

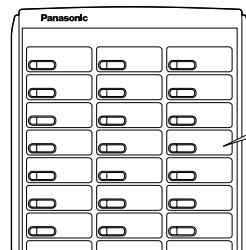
お知らせ

通話は約3分で自動的に切れます。
(切れる約10秒前に警告音が鳴ってお知らせします)
設定により通話時間の変更が可能です。

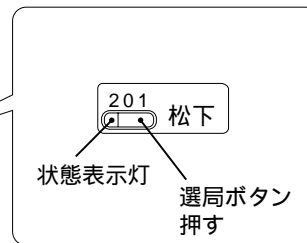
LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

状態表示ユニットのあるシステムでは

LSA室親機の受話器を取り、状態表示ユニットの選局ボタンを押すと呼び出せます。



状態表示ユニット



選局ボタンを押すと
状態表示灯が緑で点滅します。

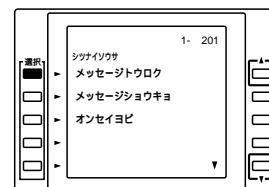
不在などで連絡がつかない場合、連絡事項があることを知らせることができます。

メッセージ登録

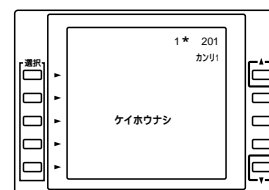
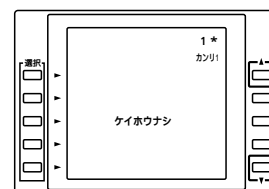
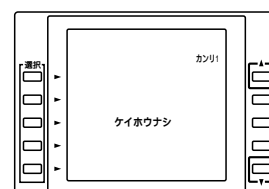
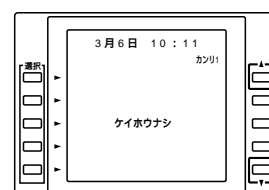
個別呼出3の操作で、呼出音が鳴っているときに“メッセージトウロク”の左側の選択ボタンを押します。

室内親機のメッセージランプが点滅し、管理事務室 / LSA室親機から連絡があることを知らせます。

登録されると管理事務室親機 / LSA室親機は話中音になります。



メッセージ登録してあることの確認



1 受話器を取ります。

2 住棟番号と **棟** ボタンを押します。

住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。

1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。

3 住戸番号を押し、**診断** ボタンを押します。

メッセージが登録
されていないとき

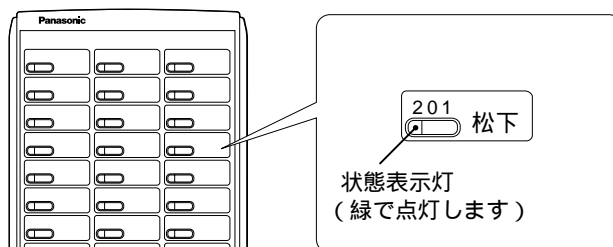


メッセージが登録
されているとき



LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

状態表示ユニットのあるシステムでは
メッセージ登録を行うと該当住戸の状態表示灯が緑で点灯します。
メッセージ表示モードのときに表示します。



続けてメッセージ登録を確認するとき

手順3の液晶表示を確認したあと、**クリア** ボタンを押して、2、3の操作をします。

次の住戸の住棟番号・住戸番号とともにメッセージの登録状態が表示されます。

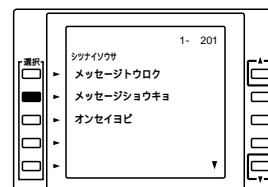
さらに続けて確認するときは、上記操作を繰り返し行います。

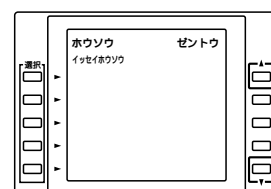
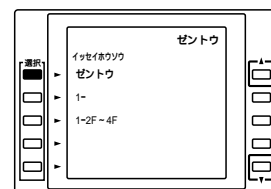
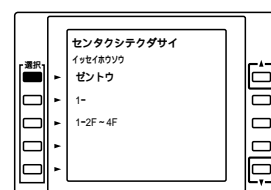
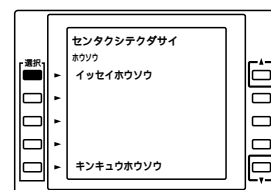
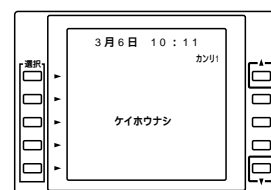
クリア ボタンを押したときに、表示は消えます。

メッセージの消去

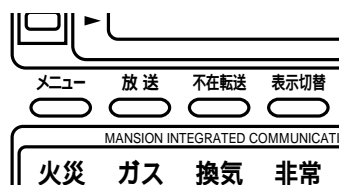
個別呼出3の操作で、呼出音が鳴っているときに“メッセージ
ショウキョ”の左側の選択ボタン1を押します。

メッセージ登録されている室内親機と通話すると自動的に消去されます。





1 受話器を取り、**放送** ボタンを押します。



2 “イッセイホウソウ” の左側の選択ボタンを押します。
これまでの一斉放送履歴が最大4つまで残っています。

3 一斉放送をしたい範囲が表示されている左側の選択ボタンを押します。
“ゼントウ” を指定した場合

4 **呼出** ボタンを押してください。
呼出 ボタンを押して0.5秒間プラッシュトーンが鳴りますので、そのあと受話器で放送してください。

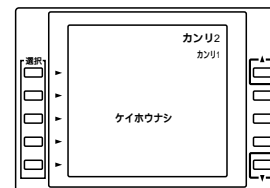
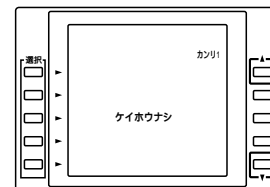
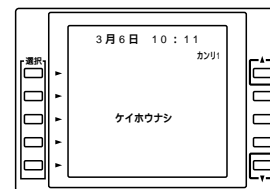
2の操作で、“キンキュウホウソウ” の左側の選択ボタンを押すと緊急放送になります。

一斉放送と緊急放送は以下が違います。

	放送の優先度	放送音量
一斉放送	他の機器と通話中の室内親機には放送されません。	室内親機の音量ボタンで切り替えられます。
緊急放送	他の機器と通話中の室内親機は、その通話を強制的に切断し、放送されます。	強制的に最大音量となります。(切り替え不可)

LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分“LSA1”になります。

他の管理事務室親機の呼び出し



1 受話器を取ります。

2 呼び出す管理事務室親機の番号（1ケタ）と「呼出」ボタンを押します。

管理事務室親機の番号を押すと、液晶表示されますので、確認してから「呼出」ボタンを押します。

番号を押しまちがえたら、「クリア」ボタンを押してやり直してください。

集中制御装置に接続された管理事務室親機から、中央制御装置に接続された管理事務室親機を呼び出すときは、「中央制御装置の番号」+「棟」+「管理事務室親機の番号」+「呼出」の順に入力してください。

中央制御装置に接続された管理事務室親機から、集中制御装置に接続された管理事務室親機を呼び出すときは、「0」+「棟」+「管理事務室親機の番号」+「呼出」の順に入力してください。

3 呼出音が小さく聞こえますので、応答があったらお話しください。

音声では呼び出せません。

音声は約3分間で切れます。（切れる約10秒前に警告音が知らせます）

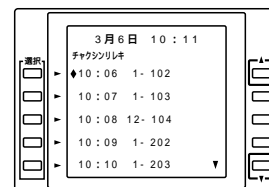
設定により通話時間の変更ができます。

LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

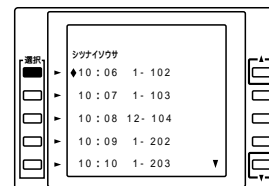
着信履歴からの住戸呼び出し

室内親機から呼び出しに応答しなかった場合、呼び出し元の室内親機の住戸番号と呼出時刻を記憶できます。(最大20件)

表示は一度に5件までできます。5件をこえた場合は、改ページマーク()が液晶画面の右側に出ますので、マーク右側の改ページボタンを押して、次の履歴を表示してください。



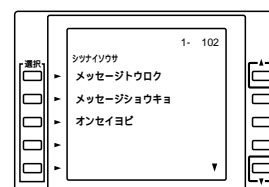
1 受話器を取ります。



2 呼び出し先の左側の選択ボタンを押します。

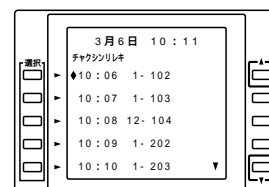
以降の操作、及び表示は個別呼び出しの場合と同じです。個別呼び出しの項目を参照してください。

呼び出した室内親機と通話をする、着信履歴は消去します。



着信履歴の消去

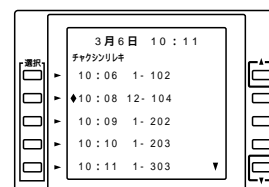
1 受話器をおいたまま、消去したい履歴の左側の選択ボタンを押してください。



2 **クリア** ボタンを押します

のついた履歴が消去され以降の表示がつまります。

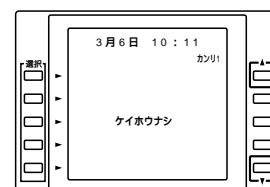
履歴がすべて消去されると待ち受けに戻ります。



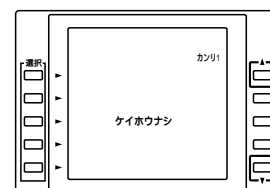
不在転送の設定

管理事務室が留守になる場合、住戸などからの呼び出しを、他の管理事務室親機へ転送することができます。
転送先に指定されている管理事務室親機は、不在転送の設定はできません。

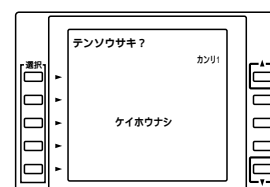
設定方法



1 受話器を取ります。

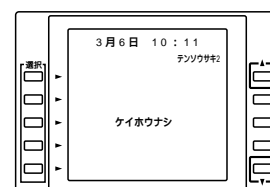


2 **不在転送** ボタンを押してください。



3 転送先の管理事務室親機の番号と **呼出** ボタンを押し、受話器を置いてください。

中央制御装置に接続された管理事務室親機から、集中制御装置に接続された管理事務室親機に転送設定するときは、**0** + **棟** + 「管理事務室親機の番号」 + **呼出** の順に入力してください。

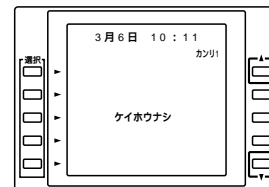


4 「不在転送表示灯」が点灯し、不在転送が完了します。

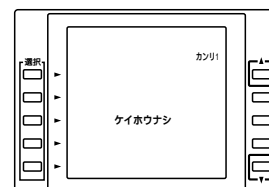
転送先の管理事務室親機が故障や接続されていないときは、不在転送設定ができません。(話中音が鳴ります)

LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

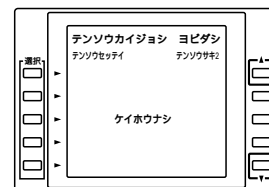
不在転送の解除（不在転送を設定した管理事務室親機で行います）



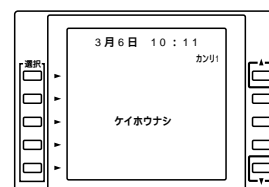
1 受話器を取ります。



2 **不在転送** ボタンを押します。



3 **呼出** ボタンを押して受話器を置いてください。



4 「不在転送表示灯」が消灯し、転送設定が解除されます。

不在転送状態のとき

- ① 管理事務室親機への呼び出しは、すべて転送先の管理事務室親機へ転送されます。
- ② 転送先の管理事務室親機の受話器を取ってお話してください。

LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

システムを調べる診断機能

通話路の確認

通話中に、**診断** ボタンを押します。

正常なときは、通話路番号が表示されます。

アラーム音が鳴ったら、故障か停電です。 **プログラム設定**

室内親機の電源OFFや停電、共同玄関子機などが故障で動かなくなった場合

① アラーム音が鳴り、異常灯（赤色）が点滅します。

② 受話器を取ると、アラーム音が止まり、異常箇所が液晶表示されます。

異常箇所が重複しているときは、**診断** ボタンを押してください。次の異常箇所が液晶表示されます。

異常は、最大20箇所まで自動的に記憶します。

管理事務室親機・LSA室親機が2台以上のシステムの場合、他の管理事務室親機、またはLSA室親機が設定中に異常をあげることがありますが、この場合は異常ではありません。

（設定変更内容を登録するときに動作が止まるためです。）

記憶させている異常箇所を表示させるとき

① 受話器を取り、**診断** ボタンを押すと異常箇所が表示されます。

② 再度**診断** ボタンを押すと、次の異常箇所を表示します。

診断 ボタンを押すたびに次の異常箇所が表示されます。

すべて表示が終ると、最初の異常箇所の表示にもどります。

異常灯（赤色）が点灯中...管理事務室親機の記憶している異常箇所を表示します（20箇所まで）

異常灯が消えている時...制御装置が記憶しているすべての異常箇所を表示します。

異常箇所がない場合は「キキイジヨウナシ」が表示されます。

管理事務室親機で記憶された異常を消すとき

クリア ボタンを押してください。

表示している異常箇所のみ消え、次の異常箇所が表示されます。

共同玄関子機のモニター

共同玄関子機を呼び出してモニター、電気錠を解錠することもできます。

① 受話器を取り、ダイヤル番号1を押します。

② 共同玄関子機の番号を押し、**呼出** ボタンを押します。

③ 通話状態になり、外の音が聞こえます。この状態で**解錠** ボタンを押すと、共同玄関の電気錠が開きます。

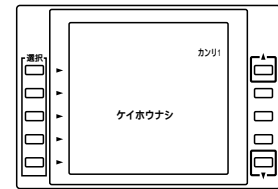
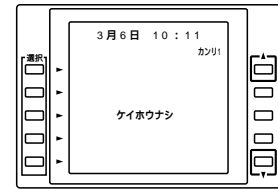
モニターテレビを接続時は、モニターテレビに映像が映ります。

④ 受話器を戻すと通話が切れます。

モニターテレビの映像も消えます。

室内親機のセキュリティ警報音を停止するには プログラム設定

管理事務室親機/LSA室親機の操作でできます。



1 受話器を取ります。

2 住棟番号と **棟** ボタンを押します。

住棟番号は1～98の1ケタまたは2ケタです。

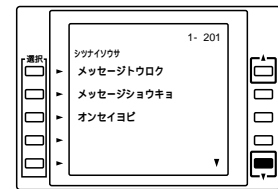
1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作の必要はありません。

3 住戸番号を押し、**呼出** ボタンを押します。

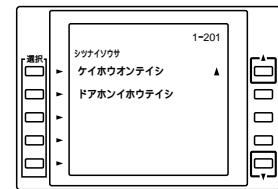
住戸番号を押すと、住棟と住戸の番号が表示されますので、確認してから **呼出** ボタンを押してください。

室内親機の警報音が受話器から聞こえます。

番号を押しまちがえたら **クリア** ボタンを押してやり直してください。



4 の右側の改ページボタンを押してください。



5 室内親機の警報音を停止するには
「ケイホウオンテイシ」の左側の選択ボタンを押してください。

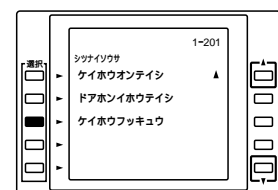
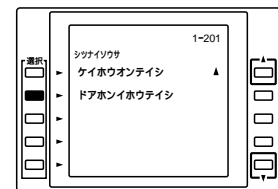
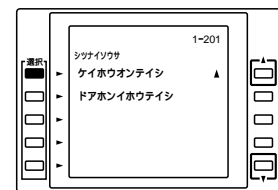
室内親機の警報音が停止し、着信音に変わります。

玄関子機の警報音のみを停止するには

「ドアホンイホウテイシ」の左側の選択ボタンを押してください。

緊急通話ユニット(VG-M380)の警報を復旧するには
(LSA室親機のみ)

緊急通話ユニットと通話中に「ケイホウフッキウ」の左側の選択ボタンを押してください。(この表示はLSA室親機のみに表示されます。)



お知らせ

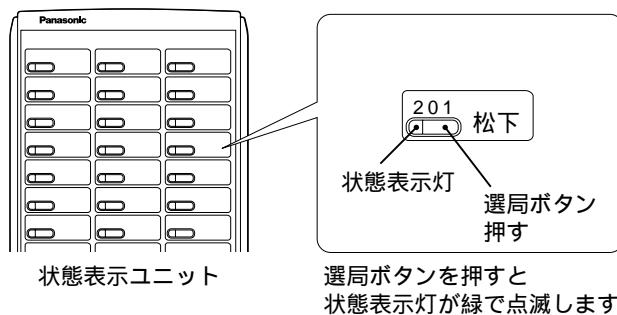
火災・ガスもれ・非常の警報音は停止することができません。

LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分が“LSA1”になります。

状態表示ユニットのあるLSAシステムでは

LSA室親機の受話器を取り、状態表示ユニットの選局ボタンを押すと呼び出せます。

(25ページ 手順2、3の代用になります。)



緊急通話ユニット(VG-M380)からの警報がある場合は、緊急通話ユニットを呼び出します。

住戸内で異常が発生すると

警報音が鳴り、原因を示す警報表示灯が点灯します。

住棟番号、住戸番号、警報発生時刻が表示されます。

警報音を止めるには「**警報音停止**」ボタンを押してください。

警報音は「擬音」+「室番号と原因を報知する音声合成音」です。

異なる異常が同時に発生し、警報が重複した場合。

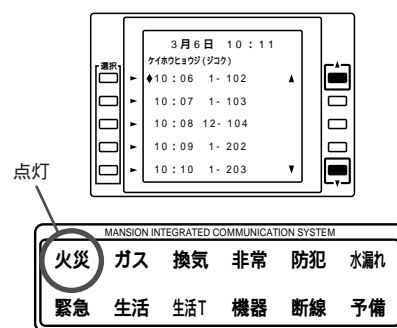
警報音は最初に発生した異常の警報音が鳴り続けます。

警報表示灯も最初に発生した異常の表示灯が点灯しています。

液晶には発生順に異常内容が表示されます（最大5件の同時表示）。

異常は64件まで記憶されます。

5件以上の異常が発生した場合、液晶の右側に、マークが表示されます。マーク右側の改ページボタンを押して画面を切り替えてください。



重複している警報の確認

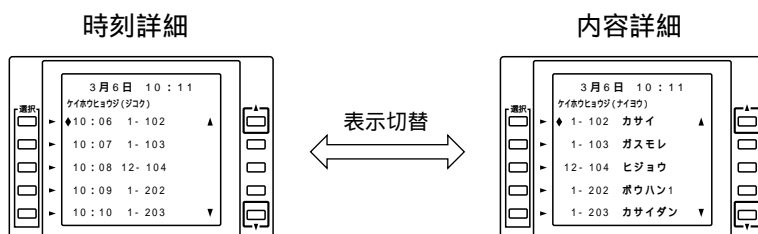
選択ボタンを押して を移動させることで、重複している警報の内容を確認できます。

対応している警報表示灯が点灯し、それまでの警報表示灯は消灯します。

警報音は最初の警報のままです。

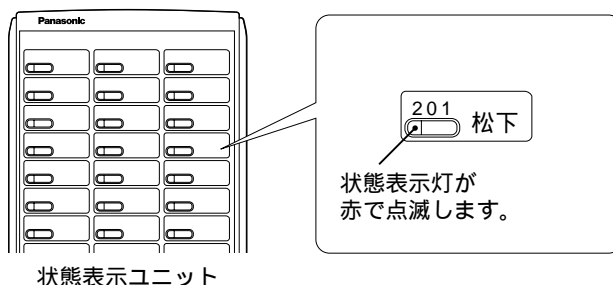
液晶表示内容を切り替えることができます。

表示切替 ボタンを押すことで、液晶の表示内容を切り替えることができます。



状態表示ユニットのあるLSAシステムでは

異常の発生した住戸に該当する状態表示ユニットの状態表示灯が赤で点滅します。



必要な警報だけを受けることができます。

初期設定

9つの警報から選んで設定できます。

火災・火災確認・ガス・換気・非常・防犯・緊急・水漏れ・断線
(室内親機側の機能により、警報が異なります)

LSA室親機はさらに3つの警報が加わります。

生活・生活T(トイレ)・機器
メニュー画面で設定します。

警報音を鳴らさないようにできます。

ミュート ボタンを押します。

ミュート表示灯が点灯し、住戸で警報が発生しても警報音は鳴りません。

再度 **ミュート** ボタンを押すとミュート表示が消え、元に戻ります。

自動通報機の接続で、火災・ガス漏れ・非常警報などを、電話を利用して必要なところへ知らせることができます。

自動通報機VJ-602B(オプション)
メニュー画面で自動通報機に出力する警報内容を設定できます。
最大で3出力です。

複数の管理事務室親機で、同時に警報を受けることができます。

表示している警報内容を消すときは

警報音停止 ボタンを押したあと **警報消去** ボタンを押してください。

マークの付いている警報が消去されます。(消去されると次の警報が順次繰り上がります。)

すべての警報を消すには

警報音停止 + **警報消去**
を繰り返し押してください。

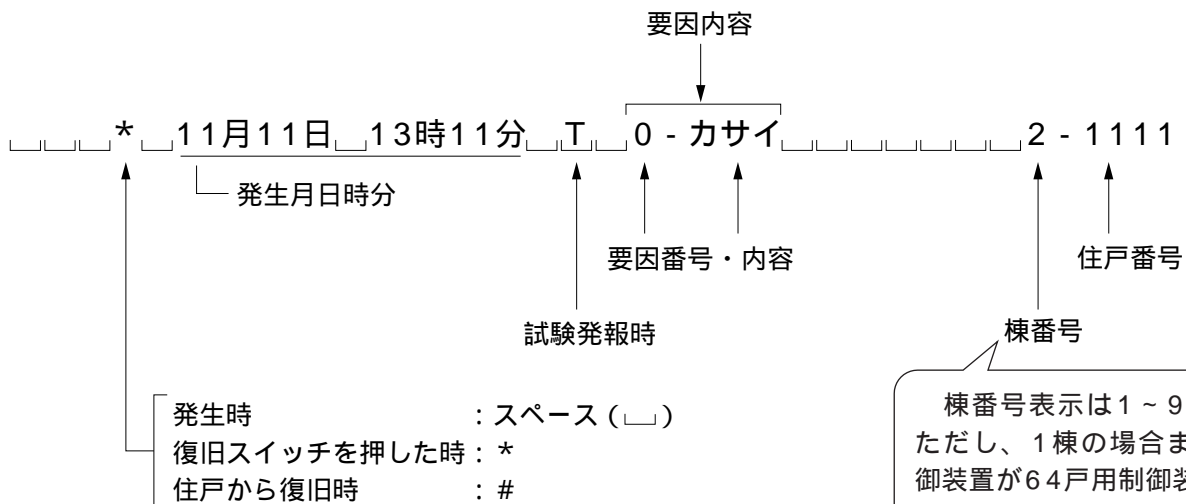
警報内容をプリント（印刷）するには

管理事務室親機にプリンタRS-232Cタイプ（例：エプソン製VP-600）を接続します。（オプション）

プリント内容

- ① 発生日時刻、原因、住棟番号、住戸番号
- ② 復旧日時刻、原因
- ③ 停電 / 停電復旧時刻

表示例



警報の種類により、要因番号と要因内容の表示が変わります。

要因内容	印字要因番号・内容	要因内容	印字要因番号・内容
火災	0 - カサイ	情報入力2	無し
ガス漏れ	1 - ガスモレ	防犯保留	無し
ガス断線	2 - ガスダン	火災確認	10 - カサイカクニン
非常	3 - ヒジョウ	空気汚れ	11 - カンキ
防犯1	4 - ボウハン1	緊急	50 - キンキュウ
防犯2	5 - ボウハン2	ペンダント 2	51 - ペンダント
バスコール 1	6 - バス	ペンダント電池切れ 2	52 - Pデンチ
トイレコール 1	7 - トイレ	生活異常 2	53 - セイカツイジョ
水漏れ	8 - ミズモレ	生活異常トイレ 2	54 - セイカツトイレ
フロ	無し	監視ユニット異常 2	55 - ユニットコショウ
火災断線	A - カサイダン	警報停止 2	F0 - フッキュウソウサ
開閉1	無し	停電 3	FF - テイデン
開閉2	無し		

上記表に該当しない場合は、要因番号のみを印字します。

- 1 バス、トイレは警報表示灯では緊急のLEDが点灯します。
- 2 LSA室親機のみ対応。
- 3 制御装置が停電したときに印字されます。

管理事務室親機でのプログラム設定方法

プログラム設定は、取り付け時に設定します。

ただし、共同玄関の暗証番号・解錠時刻・時間、管理事務室親機の日付・時刻は、管理事務室親機でプログラム設定の変更ができます。

プログラム番号01～10までは取り付け時に設定します。設定後は変更しないでください。

プログラム設定番号・設定内容

集中制御装置 VL-M786A

中央制御装置 VL-M785Aの場合

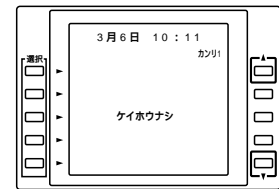
プログラム番号	設定内容
01	通話路設定 通話路1・通話路2
02	一斉放送 有り・無し
03	警報音停止 有り・無し(ただし、火災・ガス・非常は除く)
07	管理事務室親機への呼出規制 有り・無し
08	通信異常情報出力 有り・無し
09	セキュリティ解錠 有り・無し
10	ワンタッチ解錠 有り・無し
30	管理事務室親機グループ着信 有り・無し
40	共同玄関 暗証番号2の種別 住戸用・業者用
41～48	共同玄関 暗証番号1・2
50 1	全住戸解錠 有り・無し
51～58	共同玄関 解錠時刻1・2
60～61	日付・時刻設定
64	共用部最大通話時間1～10分
65	室内親機間最大通話時間1～10分
66	ガス断発報 有り・無し
68	雨報知警告音鳴動時刻 00:00～23:59
69 1	水未使用カウント停止時間帯
71～78	共同玄関 解錠時間
80	(設定不要)
900～973	住戸セキュリティ設定

64戸用制御装置 VL-M784Aの場合

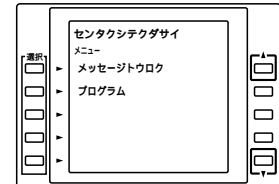
プログラム番号	設定内容
01	通話路設定 通話路1・通話路2
02	一斉放送 有り・無し
03	警報音停止 有り・無し(ただし、火災・ガス・非常は除く)
07	管理事務室親機への呼出規制 有り・無し
08	通信異常情報出力 有り・無し
09	セキュリティ解錠 有り・無し
10	ワンタッチ解錠 有り・無し
30	管理事務室親機グループ着信 有り・無し
40	共同玄関 暗証番号2の種別 住戸用・業者用
41～42	共同玄関 暗証番号1・2
50 1	全住戸解錠 有り・無し
51～52	共同玄関 解錠時刻1・2
60～61	日付・時刻設定
64	共用部最大通話時間1～10分
65	室内親機間最大通話時間1～10分
66	ガス断発報 有り・無し
68	雨報知警告音鳴動時刻 00:00～23:59
69 1	水未使用カウント停止時間帯
71～72	共同玄関 解錠時間
80	(設定不要)
900～973	住戸セキュリティ設定

1 LSA室親機使時に対応(ただし、室内親機の仕様によります)

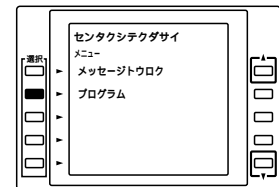
プログラムの変更は、警報や着信履歴を表示していない状態で行ってください。



1 メニュー ボタンを押してください。



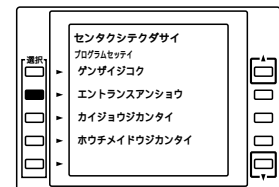
2 “プログラム” 左側の選択ボタンを押してください。



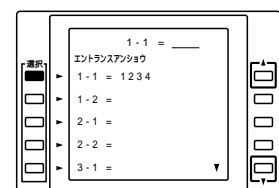
暗証番号の変更

共同玄関子機（設定番号1）の電気錠の暗証番号を「1234」を「5678」に変更するとき

3 “エントランスアンショウ” 左側の選択ボタンを押してください。



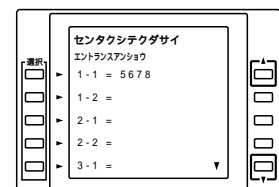
4 “1 - 1 = 1234” 左側の選択ボタンを押してください。



5 ダイヤルにて“5678”を入力後、呼出 ボタンを押してください。

暗証番号の変更は終了しました。

暗証番号を取り消す（設定なしにする）場合は、呼出 ボタンだけを押してください。



6 受話器をいったん取りあげ、再度もどしてください。最初の画面にもどります。

受話器の操作をしない場合は、約1分で自動的に最初の画面にもどります。

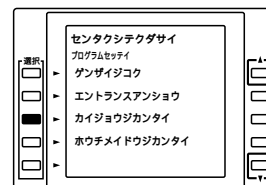
LSA室親機の場合は、液晶表示の“カンリ1”の部分“LSA1”になります。

電気錠解錠時刻の変更

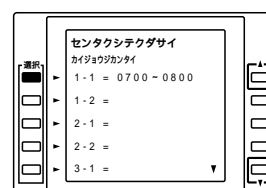
共同玄関子機（設定番号1番）の電気錠の解錠時間7時～8時までを9時～10時までに変更するとき

1、2は暗証番号の変更と同じです。

3 “カイジョウジカantai” 左側の選択ボタンを押してください。



4 “1-1=0700~0800” 左側の選択ボタンを押してください。

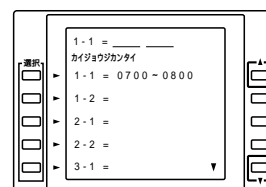


5 ダイヤルにて“0900~1000”を入力後、**呼出** ボタンを押してください。

“~”を必ず入力してください。

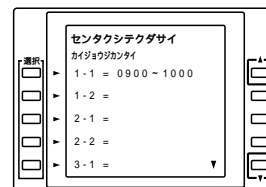
解錠時刻の変更は終了しました。

解錠時刻を解除する（設定しない）場合は、**呼出** ボタンのみを押してください。



6 受話器をいったん取りあげ、再度もどしてください。最初の画面にもどります。

受話器の操作をしない場合は、約1分で自動的に最初の画面にもどります。



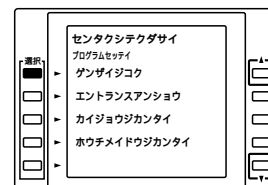
日付・現在時刻の変更

98年3月1日 00時00分を

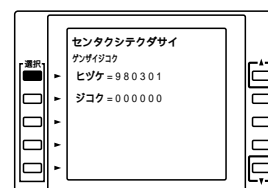
98年3月6日 10時00分に変更する。

1、2は暗証番号の変更と同じです。

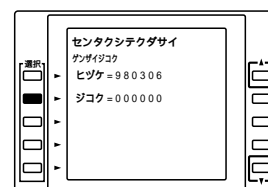
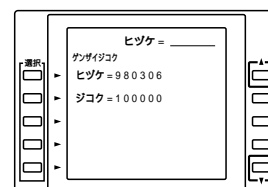
3 “ゲンザイジコク” 左側の選択ボタンを押してください。



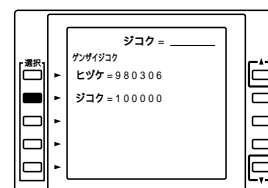
4 “ヒツケ” 左側の選択ボタンを押してください。



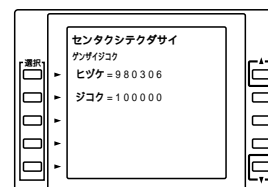
5 ダイヤルにて “980306” を入力後、**呼出** ボタンを押してください。



6 “ジコク” 左側の選択ボタンを押してください。



7 ダイヤルにて “100000” を入力後、**呼出** ボタンを押してください。



8 受話器をいったん取りあげ、再度もどしてください。最初の画面にもどります。

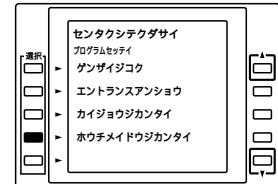
受話器の操作をしない場合は、約1分で自動的に最初の画面にもどります。

報知音の鳴動可能時間の変更

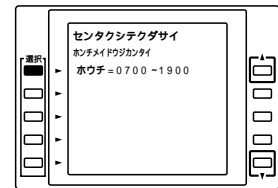
午前7時から午後7時までの鳴動可能時間を
午前8時から午後6時に変更します。

1、2は暗証番号の変更と同じです。

3 “ホウチメイドウジカantai” 左側の選択ボタンを押してください。

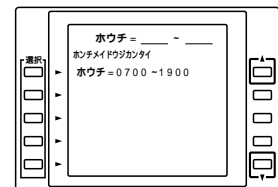


4 “ホウチ” 左側の選択ボタンを押してください。



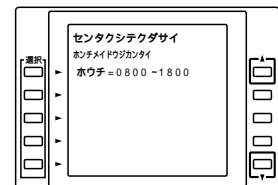
5 ダイヤルにて “0800 ~ 1800” を入力後、**呼出** ボタンを押してください。

“ ~ ” を必ず入力してください。



6 受話器をいったん取りあげ、再度もどしてください。最初の画面にもどります。

受話器の操作をしない場合は、約1分で自動的に最初の画面にもどります。

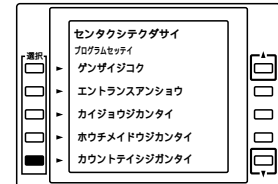


水未使用カウント停止時間帯の変更（LSA室親機のみ）

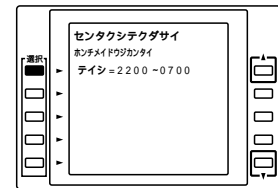
午後10時から午前7時までの鳴動可能時間を
午後11時から午前6時に変更します。

1、2は暗証番号の変更と同じです。

3 “カウントテイシジカantai” 左側の選択ボタンを押してください。

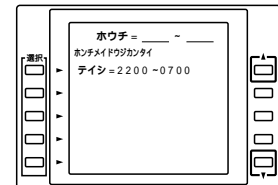


4 “ホウチ” 左側の選択ボタンを押してください。



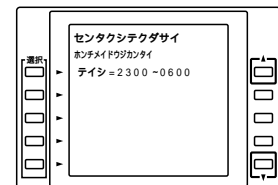
5 ダイヤルにて “2300 ~ 0600” を入力後、**呼出** ボタンを押してください。

“ ~ ” を必ず入力してください。



6 受話器をいったん取りあげ、再度もどしてください。最初の画面にもどります。

受話器の操作をしない場合は、約1分で自動的に最初の画面にもどります。



暗証番号の変更

共同玄関子機（設定番号1番）の電気錠の暗証番号1「1234」を「5678」に変更するとき。

1 受話器を取りま
す。

2 棟 ボタンを2回
押します。

3 ダイヤルでプロ
グラム番号
“41棟1”
(または“棟2”)
を押します。

4 ボタンを押し
ます。
設定されている番号が表示されます。

5 暗証番号をダイ
ヤル“5678”
と押します。

6 ボタンを押し
ます。

7 受話器を元に戻
す（ クリア ボタ
ンを押す）と設
定終了です。

暗証番号の取消し

共同玄関子機（設定番号1番）の電気錠の暗証番号1で解錠できなくするとき。

1 受話器を取りま
す。

2 棟 ボタンを2回
押します。

3 ダイヤルでプロ
グラム番号“41
棟1”
(または“棟2”)
を押します。

4 ボタンを押し
ます。
設定されている暗証番号が表示されます。

5 棟 ボタンを押し
ます。
暗証番号の表示は「0000」になりません。

6 ボタンを押し
ます。

7 受話器を元に戻
す（ クリア ボタ
ンを押す）と設
定終了です。

電気錠解錠時刻の変更

共同玄関子機（設定番号1番）の電気錠の解錠時間7時から8時までを、9時から10時に変更するとき。

1 受話器を取りま
す。

2 棟 ボタンを2回
押します。

3 ダイヤルでプロ
グラム番号
“51棟1”
(または“棟2”)
を押します。

4 ボタンを押し
ます。
設定されている時刻が表示されます。

5 解錠開始時刻を
ダイヤル
“0900~”と押し
ます。

6 解錠終了時刻を
ダイヤル
“1000”と押し
ます。

7 ボタンを押し
ます。

8 受話器を元に戻
す(クリアボタ
ンを押す)と設
定終了です。

電気錠解錠時刻の解除

共同玄関子機（設定番号1番）の電気錠の解錠時刻を解除するとき。

1 受話器を取りま
す。

2 棟 ボタンを2回
押します。

3 ダイヤルでプロ
グラム番号
“51棟1”
(または“棟2”)
を押します。

4 ボタンを押し
ます。
設定されている時刻が表示されます。

5 棟 ボタンを押し
ます。

6 ボタンを押し
ます。

7 受話器を元に戻
す(クリアボタ
ンを押す)と設
定終了です。

親機の使いかた

電気錠解錠時間の変更

室内親機・管理事務室親機からの操作で、解錠したときの時間を15秒から30秒に変更するとき。

1 受話器を取りま
す。

2 ボタンを2回 **XX**
押します。

3 ダイヤルでプロ **XX71**
グラム番号
“71”を押しま
す。

4 ボタンを押し **15**
ます。
設定されている時間が表示されます。

5 解錠時間をダイ **30**
ヤル“30”と押
します。

6 ボタンを押し **30**
ます。

7 受話器を元に戻
す（ ボタ
ンを押す）と設
定終了です。

日付の変更

5月5日と表示されている日付を、6月30日に変更するとき。

現在の表示 **5A 5B 10:15**

1 受話器を取りま
す。

2 ボタンを2回 **XX**
押します。

3 ダイヤルでプロ **XX60**
グラム番号
“60”を押しま
す。

4 ボタンを押し **980505**
ます。
設定されている日付が表示されます。

5 変更する日付を **980630**
ダイヤル
“960630”と
押します。

6 ボタンを押し **980630**
ます。

7 受話器を元に戻 **6A30B 10:15**
すと設定終了で
す。

時刻の変更

10時15分と表示されている時刻を、3時30分に変更するとき。

現在の表示 5A 5B 10:15

1 受話器を取りま
す。

2 棟 ボタンを2回
押します。 XX

3 ダイヤルでプロ
グラム番号
“61”を押し
ます。 XX61

4 ~ ボタンを押し
ます。 10 1530

設定されている時刻が表示されます。このとき時・分・秒まで表示されます。

5 時刻をダイヤル
“153000”と
押します 153000

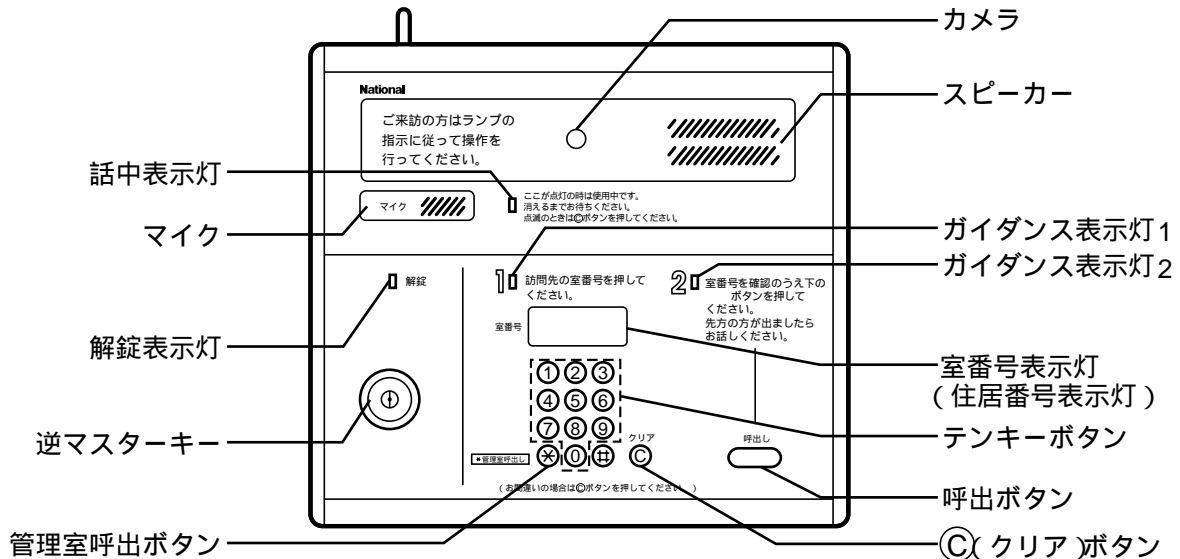
設定する時刻は24時間表示になります。また設定時刻は時・分・秒まで設定してください。

6 ~ ボタンを押し
ます。 153000

7 受話器を元に戻
す（クリア ボタ
ンを押す）と設
定終了です。 5A 5B 15:30

共同玄関子機

VL-546CY



VL-575AN、575AY、545CN、545CYには逆マスターキーはありません。
VL-575AN、575AY、546AN、546AYにはカメラはありません。

各住戸の呼び出し

話中表示灯が点灯中は使えません。消えるまでお待ちください。
点灯しているガイダンス表示灯の説明文にもとづいて操作します。

- 1** テンキーボタンで、訪問先の室番号（住戸番号3～4ケタ）を押します。
デジタル表示されますので、確認してください。
誤った場合は (C) ボタンを押して、やり直してください。
- 2** 呼出ボタンを押します。
呼び出しても応答しない場合、呼び出しは約30秒で止まります。
相手が通話中の場合、話中表示灯が点滅します。(C) ボタンを押して、再度操作し直してください。(点滅は約15秒間で自動的に消えます)
通話は約3分間で自動的に切れます。(通話が切れる約10秒前に警告音が聞こえます)
設定により通話時間の変更ができます。
通話路がふさがっている場合は、話中表示灯が点灯します。(消えるまでお待ちください)
- 3** 応答があったら、マイクに向かってお話しください。

管理事務室の呼び出し

話中表示灯が点灯中は使えません。消えるまでお待ちください。

⊗ ボタンを押します。

応答があったら、そのままお話しください。

共同玄関の電気錠の解錠

逆マスターキーでの解錠

シリンダーに各住戸の玄関キーを差込み、右に回して元に戻すと解錠できます。

逆マスターキー付き共同玄関子機のみできます。

テンキーでの解錠

Ⓜ ボタンを押し、暗証番号（4ケタ）を押すと解錠できます。

暗証番号はあらかじめ設定しておいてください。暗証番号の設定はP.30、P.31参照。

暗証番号を押しているとき、番号はデジタル表示されません。

お知らせ

解錠されると、解錠表示灯が点灯し、約2秒間解錠音が鳴って知らせます。
解錠時間は約1～60秒の間で設定します。（初期設定は15秒間です）

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、集合住宅用セキュリティシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

(注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。


技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

パナは 365日
 0120-878-365

フリーダイヤル(料金無料)

365日 / 受付9時～20時

International Customer Care Center

ナショナル/パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0199

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎ (011)894-1251
札幌市厚別区厚別南
2丁目17-7

旭川 ☎ (0166)31-6151
旭川市2条通21丁目
左1号

帯広 ☎ (0155)33-8477
帯広市西19条南
1丁目7-11

函館 ☎ (0138)48-6631
函館市西桔梗589番地
241(函館流通卸
センター内)

東北地区

青森 ☎ (0177)39-9712
青森市大字八ッ役
字矢作1-37

秋田 ☎ (018)826-1600
秋田市御所野湯本
2丁目1-2

岩手 ☎ (019)639-5120
盛岡市羽場13地割
30-3

宮城 ☎ (022)375-2512
仙台市泉区市名坂
字清水端59-2

山形 ☎ (023)641-8100
山形市流通センター
3丁目12-2

福島 ☎ (0243)34-1301
福島県安達郡本宮町
字南ノ内65

首都圏地区

栃木 ☎ (028)632-8450
宇都宮市中央1丁目
8-13

群馬 ☎ (027)352-1217
高崎市萩原町沖中
205-18

水戸 ☎ (029)225-0119
水戸市柳河町309-2

つくば ☎ (0298)64-8090
つくば市花畑2丁目8-1

埼玉 ☎ (048)728-8960
桶川市赤堀2丁目4-2

千葉 ☎ (043)208-6011
千葉市中央区星久喜町
172

船橋 ☎ (047)334-5111
船橋市本中山6丁目
11-7

柏 ☎ (0471)63-8905
柏市北柏1丁目6-6

東京 ☎ (03)5477-9780
東京都世田谷区宮坂
2丁目26-17

山梨 ☎ (0552)22-5171
甲府市下飯田2丁目
1-27

神奈川 ☎ (045)847-9720
横浜市港南区日野
5丁目3-16

新潟 ☎ (025)286-7725
新潟市東明1丁目8-14

中部地区

石川 ☎ (076)294-2683
石川県石川郡野々市町
稲荷3丁目80

富山 ☎ (0764)32-8705
富山市寺島1298

福井 ☎ (0776)54-5606
福井市開発4丁目112

長野 ☎ (0263)58-0073
松本市大字笹賀
7600-7

静岡 ☎ (054)287-9000
静岡市西島765

名古屋 ☎ (052)819-0225
名古屋市瑞穂区
塩入町8-10

岡崎 ☎ (0564)55-5719
岡崎市岡町南久保28

岐阜 ☎ (058)323-6010
岐阜県本巣郡北方町
高屋太子2丁目30

高山 ☎ (0577)33-0613
高山市花岡町3丁目82

三重 ☎ (059)255-1380
久居市森町字北谷
1920-3

近畿地区

滋賀 ☎ (077)582-5021
守山市勝部町6丁目
2-1

京都 ☎ (075)672-9636
京都市南区
上鳥羽石橋町20-1

大阪 ☎ (06)6359-6225
大阪市北区本庄西
1丁目1-7

奈良 ☎ (0743)59-2770
大和郡山市椎木町
404-2

和歌山 ☎ (0734)75-1311
和歌山市中島499-1

兵庫 ☎ (078)272-6645
神戸市中央区
琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

鳥取 ☎ (0857)26-9695
鳥取市安長295-1

米子 ☎ (0859)34-2129
米子市米原4丁目
2-33

松江 ☎ (0852)23-1128
松江市西津田2丁目
10-19

出雲 ☎ (0853)21-3133
出雲市渡橋町416

浜田 ☎ (0855)22-6629
浜田市下府町
327-93

岡山 ☎ (086)292-1162
岡山県都窪郡早島町
矢尾807

広島 ☎ (082)295-5011
広島市西区南観音
8丁目13-20

山口 ☎ (0839)86-4050
山口市鑄銭司
字鑄銭司団地北
447-23

四国地区

香川 ☎ (087)868-9477
高松市勅使町152-2

徳島 ☎ (0886)98-1125
徳島県板野郡北島町
鯛浜字かや108

高知 ☎ (0888)66-3142
南国市岡豊町中島
331-1

愛媛 ☎ (089)971-2144
松山市土居田町
750-2

九州地区

福岡 ☎ (092)593-9036
春日市春日公園
3丁目48

佐賀 ☎ (0952)26-9151
佐賀市本庄町
大字本庄896-2

長崎 ☎ (095)830-1658
長崎市東町1949-1

大分 ☎ (097)556-3815
大分市萩原4丁目
8-35

宮崎 ☎ (0985)85-6530
宮崎県宮崎郡清武町
下加納366-2

熊本 ☎ (096)367-6067
熊本市健軍本町12-3

天草 ☎ (0969)22-3125
本渡市港町18-11

鹿児島 ☎ (099)250-5657
鹿児島市与次郎
1丁目5-33

大島 ☎ (0997)53-5101
名瀬市矢之脇町
10-5

沖縄地区

沖縄 ☎ (098)877-1207
浦添市城間4丁目23-11

その他

仕 様

集中制御装置 VL-M786A

電源電圧	AC100 V
消費電力	90 W (最大)
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ333×幅503×奥行101 mm
質 量	約6 kg

中央制御装置 VL-M785A

電源電圧	AC100 V
消費電力	90 W (最大)
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ333×幅503×奥行101 mm
質 量	約6 kg

64戸用制御装置 VL-M784A

電源電圧	AC100 V
消費電力	最大19 W
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ200×幅294×奥行50 mm
質 量	約1.3 kg

管理事務室親機 VG-E485/VG-E486

電源電圧	DC24 V (制御装置より供給)
消費電流	待受時 60 mA 最大 230 mA
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ120×幅196×奥行230 mm
質 量	約1.4 kg

共同玄関子機

VL-575AN, 575AY, 545CN, 545CY

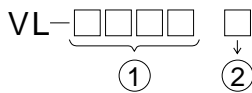
VL-576AN, 576AY, 546CN, 546CY ()

電源電圧	DC24 V (制御装置より供給)
消費電流	待受時 75 mA 最大 150 mA
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ350×幅395×奥行46(逆マスター付き78) mm
質 量	約4 kg

状態表示ユニット VG-E202

電源電圧	DC24 V (制御装置より供給)
消費電流	60 mA
周囲温湿度	0 ~ +40 80 %以下(結露なきこと)
外形寸法	高さ104×幅123×奥行231 mm
質 量	約0.65 kg

共同玄関子機のバリエーション



- ① 575A: 逆マスターキー無
 576A: 逆マスターキー有
 545C: 逆マスターキー無 / カメラ有
 546C: 逆マスターキー有 / カメラ有
- ② N: 「管理室呼出し」表示無
 Y: 「管理室呼出し」表示有

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品 番	VL-M786A、VL-M785A、VL-M784A、 VG-E485、VG-E486、VG-E202 VL-575AN、575AY、545CN、545CY、 VL-576AN、576AY、546CN、546CY
販 売 店 名	☎ () -		

松下電器産業株式会社
 松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
 〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

AA0199-0
 C8QA5124AN